

【第3号議案】NEANET 第16期事業計画（2019年4月1日～2020年3月31日）

第16期は、朝鮮半島情勢が一時期と比べ緩和に向かいつつある中、第3回目の米朝首脳会談の開催の可否が半島の安定を左右するものと考えられる。中国の対外膨張は進展しており、国際油価の上昇や米中貿易戦争の激化は国際経済の動向を複雑化している。その中で中国の対日関係重視へのシフトは北東アジアの安定に寄与すると考えられる。

日韓関係はともに自由経済を信奉する民主主義国家であり、相互に尊敬できる関係の維持が求められる。しかしながら外務省によると、相手国に対する印象がよいとする国民の割合は、日本の場合は2割強、韓国の場合は2割を切っている。これを相手国への渡航経験がある人に限定すると日本の場合は4割強、韓国の場合は5割強となる。それには交流の拡大などの分野で相互に相当な努力が必要である。

また、日ロ首脳による日ロ関係改善の動きが今年こそ進展するとの期待が高まっており、そうであれば日本の北東アジアでの貢献度がさらに高まることになろう。

このような情勢の中、何よりも重要なことは国境を越えて相互の理解を深め、交流を促進することであり、そのための活動を社会の至る所で重層的に行うことである。今期もNEANETはその一端を担うこととしたい。

NEANETの特徴は豊かな専門性を有する多彩な分野の識者が結集していることであり、会員各位の専門性を束ねて高く広く北東アジア情勢を俯瞰することが可能であり、会員各位の協力を得てその成果を自前のホームページ等を通じて発信することとしたい。

具体的には、従来より行っている北東アジア政策フォーラムの実施、OOA研究会による中国の対外政策である **Belt and Road Initiative** についての研究、日本海側港湾の振興と交流を目的とする情報交換会の実施及び北東アジア交流白書の取りまとめ、などを遂行してまいりたい。また第16期においては従来以上に会員各位の意見、主張の発表の場としてNEANET ホームページを活用してまいりたい。

このような試みを通して、更に会員数の増加・拡大、充実を図って参りたい。

その際のNEANETの重要な武器であるホームページのメンテナンス契約については、2020年7月に期限が来るので、その対応策を2019年末までに策定する。